21Lady

平成20年5月2日

各　　位

東京都千代田区二番町5番地5
会社名　２１ＬＡＤＹ株式会社
代表者名　代表取締役社長　広野道子
（本名：藤井　道子）
（コード番号:3346　名証セントレックス）
情報取扱責任者:経営管理担当取締役　岡田剛士

平成20年3月期業績予想(連結・個別)修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成19年11月16日に公表いたしました平成20年3月期(平成19年4月1日　～　平成20年3月31日)の業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想

【連結】

(1)平成20年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日　～　平成20年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	3,721	△697	△718	△653
今回修正予想(B)	3,777	△608	△627	△742
増減額(B-A)	56	88	90	△89
増減率(%)	1.5	－	－	－
(ご参考)前期実績(平成19年3月期)	4,439	△31	△33	△115

【個別】

(2)平成20年3月期通期業績予想数値の修正(平成19年4月1日　～　平成20年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	184	△35	△34	△583
今回修正予想(B)	190	△21	△10	△702
増減額(B-A)	6	13	23	△119
増減率(%)	3.3	－	－	－
(ご参考)前期実績(平成19年3月期)	194	6	7	△26

2．修正の理由

（1）連結業績

今回の業績修正におきましては、昨年の商品自主回収以後、商品群の入換え及びコスト削減に取り組んだ結果、売上高、営業損失、経常損失ともに前回予想を上回る見込みとなりました。当期純損失に関しましては、ヒロタ事業及び上海モダン事業における固定資産の減損損失82百万円を計上したほか、投資有価証券評価損104百万円の計上により、742百万円の純損失となる見込みです。

（２）個別業績

個別業績修正におきましては、コスト削減等による利益率の向上に努めました結果、売上高、営業損失、経常損失ともに前回予想を上回る見込みとなりました。当期純損失に関しましては、ヒロタ事業及び上海モダン事業における固定資産の減損損失 56 百万円を計上したほか、投資有価証券評価損 104 百万円及び子会社株式評価損 396 百万円及び投資損失引当金繰入額 116 百万円の計上により、702 百万円の純損失となる見込みです。

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる可能性があります。

本件に関するお問い合わせ先
２１ＬＡＤＹ株式会社　経営企画担当（倉田、薬師寺）　03-3556-2121

以　上